

平成22年度評価問題「ゆうチャレンジ」(熊本県学力調査) 小学校5年 算数 出題のねらい等

連番	大問	中間	領域及び学年	学習指導要領の内容	出題のねらい	観 点				主に「知識」に関する問題	主に「活用」に関する問題
						算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての表現・処理	数量や図形についての知識・理解		
①	1	(1)	数量関係 4年	D(2)ア 四則の混合の式	四則の混合した式の計算ができること。			○		○	
②		(2)	数と計算 5年	A(3)イ 整数×小数	整数×小数の計算ができること。			○		○	
③		(3)	数と計算 5年	A(3)イ 整数÷小数	整数÷小数の計算ができること。			○		○	
④	2	(1)	数と計算 5年	A(2)ア 小数の記数法	小数の仕組みを理解していること。				○	○	
⑤		(2)	数と計算 5年	A(2)ア 小数の記数法	小数を用いた記数法の仕組みを理解していること。				○	○	
⑥	3	(1)	数と計算 4年	A(2)ア 概数の表し方	百の位までの概数で表すことができること。			○		○	
⑦		(2)	数と計算 4年	A(2)ア 四則計算の結果の見積もり	目的に応じて和を概数で考えることができること。		○				○
⑧	4	(1)	数量関係 5年	D(1)ア 計算の仕方	結合法則を利用して、簡単な計算方法を考え、計算できること。			○			○
⑨		(2)	数量関係 5年	D(1)ア 計算の仕方	計算方法を言葉や数、式などを使って説明することができること。			○			○
⑩	5		図形 4年	C(2)ア 立方体・直方体(新)	直方体について、いくつかの展開図をかこうとすること。	○					○
⑪	6	(1)	図形 5年	C(1)イ 図形の合同(新)	合同な三角形をかくのに必要な辺や角を理解していること。				○	○	
⑫		(2)	図形 4年	C(1)イ 図形の性質(新)	図形の性質を見いだし、構成した図形を理解していること。				○	○	
⑬	7	(1)	量と測定 5年	B(4)ア 単位量あたりの大きさ(新)	単位量あたりの考えの意味を理解していること。				○	○	
⑭		(2)	量と測定 5年	B(4)ア 単位量あたりの大きさ(新)	単位量あたりの考えを用いて混み具合を比較することができること。			○		○	
⑮		(3)	量と測定 5年	B(4)ア 単位量あたりの大きさ(新)	単位量あたりの考えを用いて混み具合を同じようにする方法を考えることができること。		○				○
⑯	8	(1)	量と測定 4年	B(1)ウ 複合図形の面積の求め方	決められた面積の図形をかこうとすること。	○					○
⑰		(2)	量と測定 4年	B(1)ウ 複合図形の面積の求め方	複合図形の面積の求め方を考えることができること。		○				○
⑱	9	(1)	数量関係 5年	D(4) 数量の関係の調べ方	たなの横の長さや針金の本数の変わり方をもとに、針金の本数を求めることができること。			○		○	
⑲		(2)	数量関係 5年	D(4) 数量の関係の調べ方	たなの横の長さや針金の本数の変わり方について考えることができること。		○				○
⑳		(3)	数量関係 5年	D(4) 数量の関係の調べ方	たなの横の長さや針金の本数の変わり方をもとに、たなの横の長さの求め方を考えることができること。		○				○